

別府警察署協議会

第2回会議の開催状況

第1 開催月日

令和5年9月27日（水）

第2 出席者

協議会 委員 9名
大分県公安委員 1名
警察署 署長、副署長、総務官、刑事官、総務課長、会計課長、
留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、
交通課長、警備課長 12名

第3 議事の概要

1 業務説明等

警察署から

- ・業務推進状況
- ・積極的な街頭警察活動の強化に向けたモデル事業について説明がなされた。

2 諮問事項について

警察署から

- ・外国人との共生に向けた各種警察活動について説明がなされた。

3 質疑等

(1) 外国人宿泊客の増加について

委員から「外国人宿泊客数は、コロナ禍前の99%まで回復してきた。オーナーが付近にいない民泊施設における騒音やゴミ問題等、警察への通報に至らない程度のトラブルが目につく。警察署において、このような民泊施設の位置や実態は、把握しているか」旨の質問がなされ、警察署から「必要に応じ、関係機関等から情報収集したい」旨の回答がなされた。

(2) 多言語への対応について

委員から「留学生が多いので、防犯指導等、多言語対応をお願いしたい」旨の要望がなされ、警察署から「多言語で盗難被害防止を促すものを考えてまいりたい」旨の回答がなされた。

(3) 薬物事犯について

委員から「薬物事犯の傾向等はどのようになっているのか」旨の質問がなされ、警察署から「大麻取締法違反による検挙件数が、覚醒剤取締法違反検挙件数を上回っている。要因としては、若年層を中心に、大麻をたばこと同様と安易に考えて使用しているためと思われる」旨の回答がなされた。

(4) 検問場所の選定について

委員から「大規模検問の実施場所の選定理由を知りたい」旨の質問がなされ、警察署から「過去の警察事象及び活動結果に基づいて、検問場所は選定している」旨の説明がなされた。

(5) 積極的な街頭警察活動の強化に向けたモデル事業について

委員から「パトカーが赤色灯を回転させながら通行している姿をよく見かける。今後も継続した取り組みをお願いしたい」旨の要望がなされた。

(6) 交通指導取締り等について

委員から「市内では一方通行路が多い。交通指導取締り及び必要な交通規制標識の更新設置等、継続した取り組みをお願いしたい」旨の要望がなされた。